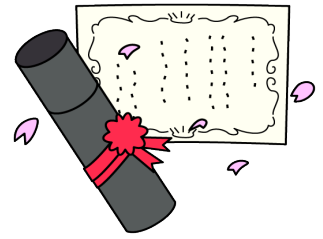




# 美東小だより



【学校教育目標】

「ふるさと美東を愛し 夢や目標に向かってたくましく生きる子どもの育成」

## 卒業おめでとう ～第1回卒業証書授与式～

本日3月19日(木)に卒業証書授与式を挙行し、美東小学校第一期生となる23名が巣立っていきました。保護者や地域の皆様には、日頃からご支援・ご協力を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。皆様のお力添えによって育まれた力は、さらに中学校に進学してからも大いに発揮されることと期待できます。

### 【卒業式 学校長式辞 抜粋】

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

卒業証書を受け取った23名のみなさんの姿は、希望に満ちあふれ、きらきらと輝いていました。この6年間で、多くの人と関わり、たくさんのことを学び、心も体もたくましく成長しました。

特に、この一年間は、昨年度末で閉校した大田小・綾木小・淳美小の歴史と伝統を引き継ぎ、美東小として新たな一步を踏み出した年でした。自分たちが「美東小一期生」として、また最上級生として引っ張っていく姿を見て、頼もしく感じました。みなさんの成長とともに、美東小としても素敵な一年間を歩むことができました。「ありがとう」

5月のふれあい大運動会は、雨天のため2日延期での開催でしたが、3小の特色を活かした種目や演技を披露しました。10月の全校遠足では綾木・真長田ルートを提案し、地域を元気にしようと途中、校歌を歌いながら10kmの道のりを歩きました。その時に、くじけそうになる下級生を労り、「もう少しだよ、がんばろう」と、そっと背中を押す姿は、心の温かさを感じさせました。11月の「ありがとう集会」では、修学旅行を通して学んだ平和学習の成果を、このステージ上から発表しました。「平和とは何か」を問い、「そのために今、自分たちができることは何か」を主張しました。それは、日頃からのみなさんの学級での生活に現れていました。互いのことを認め合うこと・困っている人に声をかけること・学習を教え合う姿などです。

楽しい思い出が多かった反面、辛いことも数多く経験してきたのではないのでしょうか。

みなさん、「辛い」という漢字を知っていますか。

その字に「一画」加えるとどんな字になりますか。「幸せ」という字です。

私からの贈る言葉は「周りの人を幸せにできる人になろう」ということです。悩んでいる仲間を、困っている家族や地域の方々を、「辛い」に一画加えること、すなわち、あなたの一つの行動によって、相手はもちろんあなたも「幸せ」を感じることができるでしょう。

では、どんな行動をとれば「幸せ」を味わうことができるのでしょうか。それはこの六年間で学んだことであり、培ったことです。具体的には、みなさん一人ひとりで考えてみてください。きっと、みなさんなら実行できます。

卒業生のみなさんの輝ける未来に笑顔があふれ、幸多からんことを祈念して式辞といたします。



# 未来に羽ばたく 美東小 第一期生 23名

